

第三次大阪府歯科口腔保健計画 指標一覧

指 標	対象年齢	現 状		目 標 (令和17年度)
		値	データソース	
1. 歯科疾患の予防・早期発見、口の機能の維持向上				
(1) 乳幼児期				
むし歯のない者の割合	3歳	92.1% (R6)	母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	95%以上
4本以上むし歯を有する者の割合	3歳	2.3% (R6)	母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	0%
(2) 少年期				
むし歯のない者の割合	12歳	72.5% (R6)	学校保健統計調査	95%以上
歯肉に炎症所見を有する者の割合	12歳	1.3% (R6)	学校保健統計調査	1%以下
(3) 青年期・壮年期				
むし歯のない者の割合	16歳	63.8% (R6)	学校保健統計調査	80%以上
歯肉に炎症所見を有する者の割合	16歳	1.4% (R6)	学校保健統計調査	1%以下
20歳代～30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	—	26.4% (R7)	大阪府健康づくり実態調査	15%以下
むし歯治療が必要な者の割合	40歳	27.7% (R6)	大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	15%以下
歯周治療が必要な者の割合	40歳	53.3% (R6)	大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	33%以下
過去1年に歯科健診を受診した者の割合	20歳以上	64.6% (R7)	大阪府健康づくり実態調査	95%以上

指 標	対象年齢	現 状		目 標 (令和 17 年度)
		値	データソース	
(4) 中年期・高齢期				
24 本以上歯を有する者の割合	60 歳	74.4% (R7)	大阪府健康づくり実態調査	95%以上
20 本以上歯を有する者の割合	80 歳	55.2% (R7)	大阪府健康づくり実態調査	85%以上
50 歳代における咀嚼良好者の割合	—	90.1% (R7)	大阪府健康づくり実態調査	98%以上
咀嚼良好者の割合	60 歳以上	72.6% (R7)	大阪府健康づくり実態調査	80%以上
むし歯治療が必要な者の割合	60 歳	23.0% (R6)	大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	15%以下
歯周治療が必要な者の割合	60 歳	63.1% (R6)	大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	48%以下
(5) 歯科受診をすることへ配慮が必要な人 (要介護者・障がい児者)				
要介護高齢者が利用する施設での定期的な歯科健診の実施の増加	—	59.3% (R7)	府内の介護老人保健施設等における歯科保健の取り組みについての調査	70%以上
障がい児及び障がい者入所施設での定期的な歯科健診の実施の増加	—	84.0% (R7)	府内の障がい者 (児) 入所施設における歯科保健の取り組みについての調査	90%以上
2. ライフコースに沿った歯と口の健康づくりを支える社会環境整備				
妊婦歯科健診を実施している市町村の増加	—	43 市町村 (R6)	大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	43 市町村 (府内全て)
法令で定めた年齢以外に成人歯科健診を実施している市町村の増加	—	31 市町村 (R6)	大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	43 市町村 (府内全て)
4 本以上むし歯を有する者の割合 〈再掲〉	3 歳	2.3% (R6)	母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査	0%
過去 1 年に歯科健診を受診した者の割合 〈再掲〉	20 歳以上	64.6% (R7)	大阪府健康づくり実態調査	95%以上